

本多房子 ほんたの房子 新聞記者。明治四十年五月十五日千葉縣君津郡生れ、
平成元年六月四日歿（一九七〇年七月八日）。筆名大木直枝、俳號はなえ。昭和
五年實踐専門學校卒。東京市農會、日本郵船等に勤務後大陸へ渡り、
哈爾濱特別市立職業學校、漢口教員訓練所で日本語教員を務める。引
揚後は『東京民報』記者を振出し、『女性文化新聞』、『東京み
やこ』、『内外タイムス』等を渡り歩き、二十九年『婦人民生新聞』
に至りて、のち編輯長。四十六年田村俊子賞受賞。

著書に『愛と反逆―ドキュメント・戦後外史の主役たち』（昭和四十
七年七月）『十日産報』サンポウ・ブックス）、『女の歳時誌』（昭
和六十一年刊）。晩年俳句を作り、進悼集『本多房子を偲ぶ』（平成
二年六月四日白井喜美子刊）に、句集『裾野』が収められた。



本多房子を偲ぶ